

## 非社会保障WG(文教・科学技術)の進め方(案)

### 1. 検討体制

【経済財政一体改革推進委員会・非社会保障分野メンバー】

高橋進議員、赤井伸郎委員、大橋弘委員、羽藤英二委員

### 2. 検討の進め方

経済・財政再生計画(文教科分野)に盛り込まれた各事項(①少子化の進展を踏まえた予算の効率化、②民間資金の導入促進、③予算の質の向上・重点化等)について、「日本再興戦略改訂 2015」「科学技術イノベーション総合戦略 2015」の関連事項も踏まえつつ、文科省・内閣府科技担当など関係府省等から実施状況や取組の方向性等についてヒアリングを実施する。

関係府省からのヒアリングにおいては、「教職員定数に係る見通し」、「第3期国立大学法人中期目標・計画」、「第5期科学技術基本計画」の策定に向けた検討状況などを聴取しつつ、年内にKPIの設定や改革工程表の作成等を行う。

### 3. 具体的な検討事項

#### ①少子化の進展を踏まえた予算の効率化

- ・学校統廃合等の支援、教職員定数の見通し
- ・遠隔授業拡大
- ・大学間の連携、学部等の再編・統合

#### ②民間資金の導入促進

- ・応用研究向け研究費のマッチングファンド
- ・国立大学の運営費交付金の重点配分、財源多様化、個人寄附金の所得控除・税額控除選択制導入検討
- ・クロスアポイントメント制度・年俸制を通じた人材流動化

#### ③予算の質の向上・重点化

- ・競争的研究費改革
- ・科学技術関係予算の重点化・重複排除と連携
- ・研究設備の共用原則化、研究費の合算使用

#### ④エビデンスに基づいたPDCAサイクル

### 4. およそのスケジュール

(社会資本整備等と合わせて議論。ヒアリングは時間を区分)

第1回(8/28) キックオフ

第2~4回(9~10月) 府省ヒアリング(①大学・科学技術、②義務教育、③予備)

第5・6回(11月) まとめの議論

## (参考)経済財政運営と改革の基本方針 2015(抄)

〔平成27年6月30日〕  
閣議決定

### 第3章「経済・財政一体改革」の取組―「経済・財政再生計画」

#### 5. 主要分野ごとの改革の基本方針と重要課題

##### [4]文教・科学技術、外交、安全保障・防衛等

[1]から[3]の主要歳出分野のほか、文教・科学技術、外交、安全保障・防衛等を含め、歳出改革を聖域なく進める。

次世代のための「人への投資」を行って、「富の継続的創造」を図るという観点から財政の「質の改善」を図り、現下の課題に対応するための長期的な成長を見据えたワイズスペンディングとし、メリハリをつける中で、必要な課題に対応する。

##### (文教・科学技術)

文教・科学技術分野については、①少子化の進展を踏まえた予算の効率化、②民間資金の導入促進、③予算の質の向上・重点化、④エビデンスに基づくPDCAサイクルの徹底を基本方針として、以下の改革を進める。

少子化の進展を踏まえた予算の見直しについては、地域コミュニティの核としての学校の役割及び統合困難な小規模校等の活性化や休校した学校の活用・再開の観点に留意しつつ、学校統廃合については時限的な教員加配等を通じた支援の拡充、ICTを活用した遠隔授業拡大、国立大学法人運営費交付金等の重点配分による大学間の連携や学部等の再編・統合の促進を図る。また、少子化の進展及び小規模化した学校の規模適正化の動向を踏まえ、国が各都道府県等に教職員定数の見通しを示し、これに基づき計画的に教職員を採用・育成・配置する。

民間資金の導入促進については、民間資金の獲得割合の上昇を一つの指標として、国立大学法人運営費交付金を重点配分するインセンティブを導入するほか、全府省庁の応用研究向けの研究費制度について企業の拠出を求めるマッチング・ファンド型制度の適用を加速し、大学について民間との共同研究など財源の多様化を図るとともに、国立大学法人に対する個人からの寄附金について、国立大学法人運営費交付金等の効率化・重点化と併せて、所得控除と税額控除の選択制を導入することについて検討する。また、クロスアポイントメント制度を通じた有能な人材の流動化、大学・研究機関と企業をつなぐマッチングプランナー制度等の活用を推進する。

予算の質の向上・重点化については、大学改革と競争的研究費改革を一体的に推進するとともに、総合科学技術・イノベーション会議の司令塔機能を強め、各府省庁の予算の重点化、重複排除と連携による効率化を徹底する。また、研究者等による研究設備の共用を原則化するとともに、府省庁を超えた複数の研究費の合算使用を促進することにより、研究費の効率的使用を推進する。

政策の効果について科学的な手法に基づき予算と成果をチェックするなど、エビデンスに基づいたPDCAサイクルを徹底する。